

日時 Date and time	2021年8月3日（火）（50分）13時～ Tuesday, August 3, 2021 (45 minutes) 1:00 p.m.
タイトル Title	中学校に向けたオンライン鑑賞プログラム # 1 「自分の解釈を作る」 Online Appreciation Program for Middle Schools #1 "Create Your Own Interpretation."
	高松市美術館での研修 Training at Takamatsu City Museum of Art
場所 Location	オンライン Online
参加者 Participant	12人 12 people
鑑賞作品 Art works	木村忠太「デッサン（風景）1」「デッサン（風景）3」「デッサン（風景）5」「グラス郊外」高松市美術館所蔵作品 Chuta Kimura "Drawing (Landscape) 1, Drawing (Landscape) 3, Drawing (Landscape) 5" "Suburb of Grassy" Collection of Takamatsu City Museum of Art

概要と目的：

描かれたものを、自分なりに読み解いてみる。というマインドセットを作る。

作品から意味生成することへの躊躇をなくす。また、解説を聞くことで、自身の解釈と別の解釈が混ざったときに、どのような判断をするのかということを知ること。

Overview and Objectives：

To create a mindset that says, "I will try to read and understand what is drawn in my own way.

Eliminate the hesitation to generate meaning from the work.

By listening to the explanations, learn for yourself how to make decisions when your own interpretation is mixed with another's.

美術館側準備物：

- ・参加者を2人一組のペアにしておく
- ・練習用：A5サイズに印刷された木村のデッサンの作品シート3種類 人数分
- ・A3程度のサイズに印刷された「グラス郊外」シート 1人1枚、事前に配っておく。折ってテープで止め、中が見えないようにしておく
- ・「解説シート」 事前に配っておく。折ってテープで止め、中が見えないようにしておく
- ・アンケート用紙を配布しておく

Preparations for the museum：

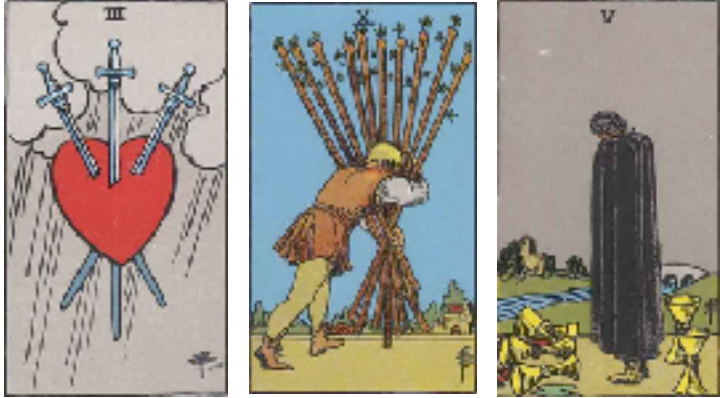
- ・Participants in pairs.
- ・3 sheets of Kimura's sketches printed on A5 size paper for practice.
- ・One "Grasse Suburbs" sheet printed on A3 size paper for each student. Hand them out in advance. Fold the sheet and tape it so that the inside cannot be seen.
- ・Hand out the "Explanation Sheet" in advance, folded and taped so that the inside cannot be seen.
- ・Distribute the questionnaire.

8.3

プログラムの流れ

内容 contents	詳細 Details	時間	経過
概要	あいさつと、プログラムの全体の流れを説明。 今日は「鑑賞＝作品を見て味わうこと・自分なりにいろいろと考えること」としてみます。今回は鑑賞の入門編で、そんな大層なことをしようというわけではないので、やったことない、よくわからない、という人も、ゲームをするくらいの感覚でやってもらえればと思います。 まず、前半はウォーミングアップで軽いゲームを行って、後半は、本番として、少しレベルアップした鑑賞に挑戦してもらいたいと思います。 練習のテーマはこちら→<u>見たものから、あなた自身が解釈すること。</u> これが今日の第一段階。作品を鑑賞する上で、まず大切なことになります。 解釈・・・というと堅苦しいですが、つまりは「この作品が私はこんなふうに見えた、見てこんなふうにした」ということを、自分で決めるということです。これがやってみると、案外難しかったりするので、練習がてら、それに挑戦してほしいと思います。 ちなみに、今日あなたが考える「解釈」はどんな些細なことでも良いです。むしろ自分ではしょうもないと思っていることのほうが、オリジナリティがあって他の人にとっては面白かったりするので、あまり自分でブレーキを掛けないで下さい。また、他人の意見は面白がったり、感心したりできるものかと思いますが、優劣を比較するものではありません。 ではここから、カードを使ったゲームでウォーミングアップをしてみましょう。 Greetings and explanation of the entire program. Making your own interpretation is the theme of this program. The interpretation can be any little thing. The goal is not to make the interpretation superior or inferior.	5	5

8.3

ウォームアップ Warming up	「絵占い」（しろっとカード） 木村のデッサンのカード3枚を配り、それぞれを「占いのカード」という設定で、「何が見えるか?」「それはどんなイメージを表しているか?」という、ことを勝手に考えて書き出してもらいます。 例えば、有名な占いのカードにタロットカードというのがありますが、  この3つのカードは、それぞれ「何が見えますか?」「それはどんなイメージを表していますか?」3人当ててその場で答えてもらう。正解は提示せず、回答した事自体を肯定する。 *自分勝手に考えるのがポイントということを伝える。 *3人指名して前に出てもらい、答えてもらう。 Warming up for meaning generation "The Amateur Tarot." Deciphering the meaning from the iconography of tarot cards and coming up with a message on your own. Three people chosen as representatives will answer in front of everyone.	8	13
練習 practice	では同じように、この3枚も「何が見えるか?」「どんなイメージを表しているか?」を書き出して下さい。時間は2分です。時間が短いので、あまり考えている暇はないかと思います。直感で、第一印象で書き出して下さい。 In the same way, what do you see when you look at the three pieces? What kind of image? Write it down. You have three minutes. 	2	15
共有 1	できたところまでで良いので、ペアに分かれ、互いの書き出した内容をお互いに伝えあってください。時間は3分です。 In pairs, share what you have written down with each other. Take turns talking in 90 seconds per person.	4	19

前半の総括と後半の概要 Summary of the first half and overview of the second half	「私には、こんなふうに見える」という勝手な解釈ができましたか？ また他人の見方を聞いて、素直に「面白いなあ」と思ったかもしれません。それがとても大事です。 自分は鑑賞が苦手だなと思っている人は、「作品のことを、よく知らない自分がこんなふうに考えてしまって良いのかな？」とおもったり、他人の意見と優劣を比べてしまったりして、「自分の解釈を持つこと」にブレーキをかけてしまって、そこから先に進めない事が多いです。 そこを抜けると、次のステップがみえてくるので、もしさっきちょっと考えにブレーキを掛けてしまったなと言う人は、本番はぜひノーブレーキで突っ走ってもらえると良いかなと思います。 さて、ここから後半は、違う作品で同じように「私はこう見える」と解釈の土台を作ってから、さらにその上に、他の情報を載せて、より「深い鑑賞」に進んでゆきます。 絵を見て、解釈をそれぞれが作った後、作品の簡単な解説を伝えます。そして、「自分の解釈」と、「他の解釈」が、出会ったときに、<u>さらに自分はどう判断するのか？</u>ということを考えてほしいです。 「自分の解釈」×「他の解釈」＝どう判断する？ 「この判断が正解」というものはありません。ある人は、解説を聞いて「なるほどそうだなあ」「私もそう解釈した」と納得するかもしれないし、またある人は「いや、本当にそうか？」と疑問を持ったり、「実はこうじゃないか？」と反論するかもしれません。また、他の解釈を聞くことで、新たな解釈が生まれるかもしれません。 もう一度いいますが、どんな判断が正解ということではなく、<u>自分はどう判断するのか？</u>ということをよく考えて、その判断に自分で自信を持ってほしいです。 <この後の流れ> ①先ほどと同じように別の作品1点を鑑賞し、<u>「①あなたの解釈」</u>どう見えるか、どう感じたか？を書き出す＊今回は占いではない・時間が長く、点数は少ないので、更に詳しい解釈を期待する（4分） ②簡単な解説を聞く（5分程度） ③解説を聞いて、自分の解釈と照らし合わせて、②さらにどう感じたのか？を書き出す。3分	5	24
---	---	---	----

8.3

Summary of the first half and overview of the second half	Check to see if you were able to have your own interpretation. Share how interesting it is to hear the opinions of others. Check again in the second half of the session to make sure that you are not putting the brakes on your ideas and images as much as possible. In the second half of the class, we will create our own interpretations and then listen to the commentary and try to figure out how to think about it further. They will read the commentary after the viewing and think about how they will interpret it, just like in a museum. All interpretations are welcome, whether they agree, sympathize, question, argue, or generate new ideas. It is not the content of the interpretation that is important, but how you interpret it.		
鑑賞	「グラス郊外」を開き、を同様に鑑賞し、<u>「あなたの解釈」</u>どう見えるか、どう感じたか？を書き出す。4分 Watch "Grasse Suburbia" and stir up your interpretation. 4 minutes 	4	28
情報・解説	ファシリテーターが作品の「解説シート」を開き、読み上げる。5分 The facilitator reads out a description of the work. 5 minutes	5	33
判断	解説を聞いて、自分の解釈と照らし合わせて、どう感じたのか？をさらに書き出す。3分 Listen to the explanations and write down what you think about them further. 3 minutes	4	37
共有	ペアに分かれ、互いの書き出した内容をお互いに伝えあってください。時間は6分です In pairs, share what you have written down with each other. Take turns talking in 3 minutes per person.	7	44

総括 generalize	総括する。 どうでしたでしょうか？自分の解釈は、他の解釈によって、どうなりましたか？なにか変化や新しい発見があった人もいれば、反対にもととの自分の解釈がより強まった人もいるかも知れません。  今日は作品を鑑賞するときの、「自分の解釈」を作るというところがスタートでしたが、これが鑑賞の土台になります。 これがなく、ただ他の人の解釈・作品情報があっても、おそらくあまり心に残らないでしょうし、また、他の人の解釈というのは無数にあるので、どれを信じたら良いのか、他人の解釈に振り回されて何なのかよくわからなくなる。ということもあります。 これは鑑賞だけでなく、生活の様々な面でも言えることですが、とりあえずの「自分の解釈」をまずもってから、いろいろ他の解釈も聞きつつ、その上で、自分はどうか判断するのか？と考える。そのステップを繰り返し踏むことで、他の人の解釈をより楽しんだり、さらに考えを深めたり、新しい発見を生むことができたりします。 そんなことを伝えたかったのが、今日のプログラムでした。 ありがとうございました。 We had a program on the theme of creating one's own interpretation. This is the foundation of art appreciation. If you have your own interpretation and then listen to other explanations, your interpretation will become more profound. If you cram in other interpretations without having your own interpretation, you will not be able to interpret the work independently or it will not remain in your memory. This process of thinking, not only in art appreciation, will enrich you in many aspects of your life.	5	49
プログラム後 After the program	制作物を回収する。 Collect the production.		

解説シートの内容

鑑賞した作品は木村忠太さんという作家のものです。

木村さんは今から100年ほど前、1917年に香川県高松市に生まれた画家です。

36歳の頃にフランスに移住し、活躍する画家となり、死ぬまでそこで暮らしました。

今回鑑賞した作品は、1975年＝58歳の時に描いた、「グラス郊外」＝

「フランスにあるグラスという土地のはずれ」というタイトルの油絵です。

グラスの風景を描いているので、よく見ると所々に街の情景が見つかるかもしれません。

ウォーミングアップの作品も、実は同じ時期の木村さんの風景をテーマにした作品です。

木村さんは、実際の場所でこのようなデッサン（下絵）を描き、それを元に油絵を描きました。

「デッサンはいかに自然を見ながら、自然そのものでない僕のこの知覚なんかを織り込み、僕の自然を夢化する。それから油絵は自然を前にしないで、デッサンを見て魂の中に焼き付いている最初の感動を信じて夢を戻していく。」

では、ここからさらに他の人が書いた解説を抜きだして紹介します。すこし分かりづらい部分もあるかと思いますが、一般向け・大人向けの美術館に本当にある資料として、自分はどんなふうに捉えることができるのか、わからない部分も含めて挑戦してみてください。

グレーの部分は「生誕100年 木村忠太展解説」2017年 高崎市美術館 主任学芸員 住田常生 から抜粋
https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2016121500044/files/midokoro_guide.pdf

木村さんは1953年36歳で渡仏以来、亡くなるまで一度の帰国をのぞき、フランスの自然の光をみつめ続けました。まるで抽象画のようなので、難しいと敬遠する方もいらっしゃるのでは？なぜ抽象画が難しいか。対象をそのまま写すのではなく、画家の心の中を描くから。でも何かを見て描くときも、画家の心の中では「対象をみつめること」と「自分をみつめること」がせめぎあっていて、それをひとつにできたとき、絵はよいものになる。今では当たり前のことかもしれませんが。しかし木村さん世代は、戦前平面に対象を写すこと、つまり目で見えることを叩き込まれ、戦後は急速に抽象表現が広まり、今度は心で見えることに傾く。木村さんは悩んだ末に、目か心かどちらか一方でなく両方で見なければならぬと直感し、フランスの光をみつめることで実践した。

略

ウォーミングアップも兼ねて、制作の基本スタイルを紹介します。物のかたちを線で、光を色で描きます。目のかたちを、心で光をとらえるのが木村さんにとって「見る」こと。輪郭線と色面は必ずしもぴたりと一致せず、線から色がはみ出す。形をとらえる目と、光をとらえる心が、絶えず揺れ動いています。

略

では心の動きと、目が見る自然をどのように一枚の絵に描くか。目が自然を見ることで動いていく心のさまとは時の流れに他ならないから、時の流れを描けばよいと気づく。そして自然と心、つまり外と内が触れあう境界こそ、以前からのテーマである光でした。光こそ自然を映す鏡であり、心の窓なのですね。そこで一瞬の光をとらえた印象派の点描を線描へ、色面へと発展させて、時の流れを描こうとします。しかし光それ自体は描けないので、色に変えて描いた。

絵占い用シート A5サイズ 3種



「この作品はどんなイメージですか？
何を伝えていますか？」



「この作品はどんなイメージですか？
何を伝えていますか？」



「この作品はどんなイメージですか？
何を伝えていますか？」

鑑賞用シート A3サイズ



①この作品はあなたにどう見え
ましたか？どう感じましたか？
あなたの解釈を教えてください。

②解釈を聞いて
さらにどう考えましたか？

シート：
画像の大きさが
紙面の半分程度に
なるように。
文字の大きさは任意。

アンケートの内容：

- ①：プログラムに参加してどうでしたか
(満足・特に何も感じなかった・不満足・よくわからない部分があった)
 - ②：①で回答した理由を教えてください。
 - ③：このプログラムを中学校でも実施できると思いますか？
(可能だと思う・修正すれば可能だと思う・難しいと思う・わからない)
 - ④：③で回答した理由を教えてください。
- 以上